

中学校部活動の地域展開モデル事業について

1 概要

中学校の部活動は、スポーツや文化芸術に親しみ、責任感や協調性を育むなど、子どもたちの成長に大きな役割を果たしてきた。一方で、少子化による部員数の減少や生徒ニーズの多様化、教員の長時間労働や専門外指導の負担等により、部活動の在り方の見直しが求められている。

こうした中、本市は、希望する全ての生徒が地域で多様なスポーツ・文化芸術活動に親しめるよう、令和5年1月から中学校部活動の地域展開の検討を重ね、令和10年度中の休日部活動の地域展開を目指しているところである。

地域展開の制度や課題を検証するため、中学校部活動の地域展開モデル事業を実施する。



2 中学校部活動の地域展開モデル事業

- (1) 実施期間 令和8年8月30日～令和9年2月
- (2) 実施内容 新規地域クラブ創設モデル2種目、既存クラブ活用モデル6種目
- (3) 検証項目 活動の質、安全管理、指導者確保、運営体制など
- (4) 今後の活用 検証結果を踏まえ、令和9年度以降の制度設計や認定地域クラブの整備につなげる。

区分	概要	モデル種目
新規地域クラブ創設モデル	市立の中学生を対象とした新規クラブを開設	・陸上競技（市内企業等と連携） ・バドミントン（生徒ニーズの高い種目）
中学校既存クラブ活用モデル	市内5校で実施している既存のクラブを活用	・松賀中学校（ソフトボール） ・豊栄・志和中学校（軟式野球合同チーム） ・黒瀬中学校（剣道） ・志和中学校（ゴルフ） ・西条中学校（柔道、吹奏楽）

3 今後の展開

本市は、これまでの学校部活動を単に地域へ移すのではなく、子どもの「やってみたい」を起点に、多様な活動を選び、安心して続けられる環境づくりを進める。そのため、学校、地域、スポーツ・文化芸術団体に加え、企業等とも連携しながら、生徒の多様なニーズに応じた活動機会の充実を図る。

「地域の子どもは地域で育てる」という考えのもと、学校と地域が連携した持続可能な活動環境の構築を目指す。

【実施スケジュール】

令和8年度	中学校部活動の地域展開の推進方針を策定し、地域展開モデル事業を実施する
令和9年度	中学校部活動の地域展開を目指し、運営事務局を立ち上げ、認定地域クラブの募集や審査、認定を実施する
令和10年度	休日部活動の地域展開を開始する
令和11年度から	休日部活動の地域展開の定着・充実を図る

※平日の学校部活動は当面継続し、地域展開の状況を見ながら段階的に実施。